

公表

事業所における自己評価総括表

|                |                          |    |        |    |
|----------------|--------------------------|----|--------|----|
| ○事業所名          | あつぷるみんと                  |    |        |    |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年9月1日 ～ 2025年9月30日   |    |        |    |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                   | 34 | (回答者数) | 34 |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年10月1日 ～ 2025年10月15日 |    |        |    |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                   | 7  | (回答者数) | 7  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年1月31日               |    |        |    |

○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること       | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                                                                                                   | さらに充実を図るための取組等                                                                                                                                                   |
|---|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 発達や目的に応じて組み立てる、多様な活動プログラム<br>（製作活動・就学に向けた課題活動 等） | 一日の活動では「静」と「動」を意識して内容を組み合わせています。その日のメンバーや課題を確認し、発達段階や特性を踏まえ活動内容を考えています。その基本には、職員が療育の視点を大切にし、子どもが意欲的に参加できる活動の工夫があります。「就学前」「就園前」の児童には、生活や集団、学びを見据え、経験を積み重ねる課題活動を盛り込んでいます。 | 今後も、集団活動の中でも、個々の発達段階や特性に応じて支援方法を調整しつつ、職員間で確認・共有を行い、一貫した療育を提供しています。また、幼稚園・保育園に通園し当事業所を利用されている児童も多いため、園での取り組みを保護者様から共有いただき、補完・反復・発展の視点を取り入れながら、活動内容の充実を図っていきます。    |
| 2 | 個々に合った支援計画と専門療育を活かしたオーダーメイドな療育                   | 支援計画を設定する際の面談では、課題に対するモニタリングからの立案だけでなく、家庭や園での児童の近況や保護者様の育児に対する想いを丁寧に伺い、計画を作成しています。また、集団活動での児童の様子や保護者様の意向、児童の近況に応じて「個別専門療育」が必要と判断した場合には、速やかに対応しています。                     | 当事業所では、職員が評価期間の支援計画と向き合いながら日々の関わりを振り返り、児童一人ひとりの反応や変化を支援に活かしています。集団活動の中で得られた気づきを支援員間で共有し、個別の視点と集団での関わりを行き来しながら、よりよい支援方法を話し合い、療育の内容を積み重ねていくことを大切にしています。            |
| 3 | 保護者・職員間のきめ細やかな情報共有による児童成長把握と支援活用                 | 当事業所では、送迎を保護者様にお願いしている体制を活かし、送迎時にその日の児童の様子をタイムリーに伝えるとともに、ご家庭や園での様子、困りごとを伺っています。その日の心身の状態を確認しながら療育に向き合う様子をフィードバックすることで、さまざまな観点からその場面に応じた対応を共有しやすくしています。                  | 今後も日々成長する児童と、保護者様の想いを逃すことなく対応していきます。そのため、支援員は保護者様に伝えるだけでなく、児童と保護者様両方の想いをしっかり聞き取り、日々の関わりの中で生まれるその一瞬を逃さず、職員ミーティング等で共有しながら、より適切な支援につなげられるよう、次回の療育に活かせる支援方法を考えていきます。 |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                                                                                                               | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                                                                                                           |
|---|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 放課後等デイサービスの対応                              | ご希望がありましたので検討を行いました。児童発達支援のご家庭からの希望が多く、規定の定員枠の関係上、今年度放課後等デイサービスを実施できない状況です。                                                                     | 今後、利用状況などの条件が整った場合は、必要に応じて検討を行う予定です。年長児に関しては、就学をスムーズに迎えられるよう、就学後に起こり得る場面を想定した内容をプログラムに取り入れ、学びや経験を積む療育を行っています。職員一同でさらに工夫を重ね、お子様とご家庭が安心して就学を迎えられるよう、丁寧に支援していきます。 |
| 2 | お迎え時フィードバックの工夫                             | お迎え時のフィードバックでは、短い時間で子どもの様子や活動内容をお伝えできるよう工夫しています。ただ、お子様の頑張りや療育の内容を丁寧に伝え中で、待ち時間が少しかかる場合もあります。                                                     | 療育内容の報告については、支援員間でねらいを簡潔に伝える工夫を共有したり、連絡帳に記載した内容を活用したりすることで、情報が重ならず効率的にお伝えできるようにしています。また、要点を整理して保護者の方に分かりやすく伝えられるよう、職員のスキル向上やミーティングでの工夫の共有にも取り組んでいます。           |
| 3 | 屋外設備の利用工夫                                  | 保護者様による送迎をお願いしているため、駐輪場、駐車場、送迎用スペース、飛び出し防止スペースなど、屋外設備の整備や安全対策に配慮しています。賃貸の物件のため建物構造上の制約があり、改修や設備の追加は容易ではありません。そのため、お迎え時間帯など、一部の環境調整には工夫が必要な状況です。 | 駐車場の台数を増やしました。日差しの強い時期にはシェード設置など、屋外での快適性向上にも取り組んでいます。今後は、広い駐輪場を活かしてより利用しやすい環境となるよう工夫することや、お迎え時間帯の集中緩和策についても検討していきます。賃貸物件の制約はありますが、可能な範囲で改善に努めています。             |

| 事業所名                 |    | 公表日                                                                                                                        |    |               |     |       |                                                                                  |                                                               |
|----------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------|-----|-------|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| あつぷるみんと              |    | 2026年1月31日                                                                                                                 |    |               |     |       |                                                                                  |                                                               |
|                      |    | 利用児童数                                                                                                                      | 34 |               |     |       |                                                                                  |                                                               |
|                      |    | 回収数                                                                                                                        | 34 |               |     |       |                                                                                  |                                                               |
|                      |    | チェック項目                                                                                                                     | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見                                                                              | ご意見を踏まえた対応                                                    |
| 環境・<br>体制<br>整備      | 1  | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。                                                                                             | 32 | 2             | 0   | 0     | 子供の人数に適したスペースと思う。<br>(複数意見)                                                      | 子どもの人数に十分対応できる広さ（約100㎡）があり、のびのびと安全に活動に参加できる環境が整っている。          |
|                      | 2  | 職員の配置数は適切であると思いますか。                                                                                                        | 33 | 0             | 0   | 1     | 配置数は、とても手厚く適切。(複数意見)                                                             | 今後も職員は設置基準を上回る手厚さで、療育にしっかり向き合える優れた先生が揃い、適切な体制で療育を行っている。       |
|                      | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。                               | 30 | 2             | 0   | 2     | 子供たちは、快適に通っている。子供にわかりやすい環境である。                                                   | 生活空間は子どもに分かりやすく構造化され快適だが、今後は快適さの中にも自立を促す工夫をさらに進めたい。           |
|                      | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。                                                            | 34 | 0             | 0   | 0     | 子供たちの活動に合わせた空間になっている。(複数意見)                                                      | 生活空間は子どもたちの活動に合わせ、心穏やかに過ごしながら活動したくなる心地よい環境。今後も工夫を重ねる。         |
| 適切な<br>支援<br>の<br>提供 | 5  | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。                                                                           | 34 | 0             | 0   | 0     | 子供の特性に応じて対応できている。<br>(複数意見)                                                      | 一人ひとりの特性を踏まえた専門的支援の質をさらに高めていく。                                |
|                      | 6  | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。                                                                               | 34 | 0             | 0   | 0     | 提供されている支援内容とあっている。                                                               | 支援プログラムと提供内容の整合性を継続的に確保していく。                                  |
|                      | 7  | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。                                                    | 34 | 0             | 0   | 0     | いつも親身に相談に乗ってもらい、子供のことを十分に理解したうえで支援計画を作成している。(複数意見)                               | 親身な相談対応を大切にした支援計画作成を推進していく。                                   |
|                      | 8  | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。    | 33 | 0             | 0   | 1     | 細かくわかりやすく、適切な支援内容である(複数意見)                                                       | ガイドラインに沿い必要な支援を適切に選択し具体的な計画作成の質の向上を図っていく。                     |
|                      | 9  | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。                                                                                               | 34 | 0             | 0   | 0     | 支援計画に沿って、進めていただいていると感じています。                                                      | 今後も、児童発達支援計画に基づく支援内容の実践と振り返りを徹底していく。                          |
|                      | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。                                                                                        | 34 | 0             | 0   | 0     | 1か月の予定や内容を分かりやすく示し、活動が固定化しないよう定期的に見直しながら工夫している。                                  | 子どもの興味や発達段階を踏まえた新しい活動も取り入れながら、楽しさを大切にした柔軟な活動運営を継続していく。        |
| 保護者への<br>説明等         | 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。                                                                             | 21 | 3             | 0   | 10    | 必要ないと思う(複数意見)                                                                    | 幼稚園や保育園との併行利用により地域で交流できている状況を尊重し、園と連携し事業所では療育の充実に努める。         |
|                      | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。                                                                            | 34 | 0             | 0   | 0     | 体験時と契約時に丁寧に説明を受けた。                                                               | 体験時や契約時の丁寧な説明を大切にし、通信や冊子でも分かりやすい説明に努めていく。                     |
|                      | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。                                                                                          | 34 | 0             | 0   | 0     | 個別面談で丁寧な説明があった。                                                                  | 今後も、個別面談の機会を大切にし、計画内容を分かりやすく丁寧に説明していく。                        |
|                      | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。                                                       | 33 | 0             | 0   | 1     | きょうだいも参加できる情報提供の機会がある。                                                           | 家庭で役立つ学びの場を大切にし、きょうだいも参加できる家族支援を今後も丁寧に続ける。                    |
|                      | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。                                                                      | 34 | 0             | 0   | 0     | いつも子供の様子を丁寧に伝えてくれ、子供の成長を感じることができる(複数意見)<br>いつもお迎えの時、当日の子供の様子を伝えてくれるが、少し話が長い時がある。 | 活動内容を丁寧に伝え合い、保護者様とお子様の成長を共に見守っていく。                            |
|                      | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。                                                                                            | 34 | 0             | 0   | 0     | 定期的に面談をしていただいている。手厚くして頂いている。                                                     | 定期的な面談を大切にし子育ての悩みに寄り添う支援を今後も続けていく。                            |
|                      | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。                                                                                                | 34 | 0             | 0   | 0     | どの先生も丁寧に共感的に対応して頂いている。                                                           | 一人ひとりに寄り添い共感を大切にした丁寧な支援を今後も続けていく。                             |
|                      | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 32 | 1             | 0   | 1     | きょうだいも参加できるイベントもあり、楽しく参加できる(複数意見)<br>仕事で参加できていないが、通信などで内容を知ることができる。              | 保護者様やごきょうだい安心して交流できる機会を大切にし、参加が難しいご家庭にも情報を丁寧に届けながら支援を充実させていく。 |
|                      | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。                       | 34 | 0             | 0   | 0     | 相談はいつも迅速に丁寧にに対応していたっている。                                                         | 相談の機会を分かりやすく周知し、迅速かつ丁寧にに対応できる体制を今後も大切にしていく。                   |
|                      | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。                                                                                    | 34 | 0             | 0   | 0     | 情報伝達の配慮はされていると思う。                                                                | 子どもや保護者との丁寧に意思疎通を大切にし、状況に応じた分かりやすい情報伝達を今後も継続していく。             |
|                      | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。                                                 | 31 | 1             | 0   | 2     | いつも、通信をたくさんもらっている(複数意見)                                                          | 通信やホームページ等を通じ活動内容や評価結果を分かりやすく丁寧に発信し続けていく。                     |
|                      | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。                                                                                                 | 33 | 0             | 0   | 1     | きっちりと管理されている。                                                                    | 個人情報の大切さを職員全体で共有し、管理と適切な取扱いを徹底していく。                           |

|         |    | チェック項目                                                                                       | はい | どちらとも<br>いいない | いいえ | わからない | ご意見                                   | ご意見を踏まえた対応                                         |
|---------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------|-----|-------|---------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 33 | 0             | 0   | 1     | 契約時に説明がある。                            | 今後も、契約時に内容を丁寧に説明し、保護者通信でも分かりやすく伝えながら実践的な訓練を継続していく。 |
|         | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。                                                 | 33 | 0             | 0   | 1     | 訓練など安全確保する計画があり、通信でも内容が紹介されている。(複数意見) | 非常災害を想定した避難・救出訓練を継続し、実践的な内容へ改善を図っていく。              |
|         | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。                             | 34 | 0             | 0   | 0     | 訓練など安全を確保することが周知されているので安心。            | 安全確保計画の周知を継続するとともに、訓練内容を見直し、より実効性の高い体制づくりを進めていく。   |
|         | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。                              | 32 | 1             | 0   | 1     | 安全に配慮されており、事故が起こったことは聞いたことがない。        | 日頃から丁寧な見守りと安全確認を重ね、安心して過ごせる環境づくりを継続する。             |
| 満足度     | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。                                                                         | 34 | 0             | 0   | 0     | 信頼している先生がいて、安心して<br>(複数意見)            | 継続して、個々の状況に応じた支援を行い、安心感のある環境と通所の安定を図っていく。          |
|         | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。                                                                           | 33 | 1             | 0   | 0     | いろんなことを体験できるのでいつも楽しみにしている(複数意見)       | 今後も、多様な体験活動を継続し、子どもが毎回楽しみに通える環境づくりを進めていく。          |
|         | 29 | 事業所の支援に満足していますか。                                                                             | 34 | 0             | 0   | 0     | 目に見えて成長しており、感謝している<br>(複数意見)          | 一人ひとりの成長を共に喜びながら、丁寧な関わりを重ね、さらに力を伸ばせる支援を続けていく。      |

| 事業所名     |    | あつるみんと                                                                                                                                   |    | 公表日 |                                                                       | 2026年1月31日                                                   |
|----------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
|          |    | チェック項目                                                                                                                                   | はい | いいえ | 工夫している点                                                               | 課題や改善すべき点                                                    |
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                             | 7  | 0   | 広さを活かして、安全に配慮して適切な定員で運営できている。空間を有効に使った活動も実施できている。                     | 教具整理を工夫し、活動しやすい空間づくりを継続する。                                   |
|          | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。                                                                                                          | 7  | 0   | 常勤5名に加え非常勤も多く配置し、協力しながら複数の専門的視点で療育を行っている。                             | 現状の配置体制を維持し、連携の質を高める。                                        |
|          | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                    | 7  | 0   | 段差のないバリアフリーに加え、環境整備を日々丁寧に行い、配慮された環境を保っている。お子様に分かりやすい空間の構造化ができています。    | 新しい工夫を取り入れ、ことばだけでなく絵カードなども利用して、さらに分かりやすさを継続していく。             |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                    | 7  | 0   | 毎日の掃除や定期的な整備・消毒を通し、お子様が快適に過ごせる環境を整えている。                               | 快適な環境づくりを継続する。安心できる環境を維持しながら、子どもの動線や活動に応じた空間改善を進めていく。        |
|          | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                               | 7  | 0   | 支援員の見守りのもと、お子様本人の意思で、落ち着けるスペースに行くことが認められている。                          | 個別スペースの活用を共有し、安心感を保つことができるように、最善の配慮を行っていく。                   |
| 業務改善     | 6  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。                                                                                            | 7  | 0   | 業務改善のPDCAサイクルは、職員全員が目標設定や振り返りを活かしながら、改善に向かって取り組んでいる。                  | PDCAの取組を継続し、さらなる改善につなげていく。                                   |
|          | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                     | 7  | 0   | 保護者様の意見を全員で把握して、職員で話し合いながら、事業所の質を高めることにつなげている。                        | 意見を丁寧に受け止めて、改善を継続していく。                                       |
|          | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                   | 7  | 0   | 職員の意見を語り合う会議やミーティングで、不安や課題を解消しながらより良い療育を目指している。                       | 意見交換の機会を継続し、働きやすさを高めながら、業務改善を推進していく。                         |
|          | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                         | 0  | 7   | 外部の助言やアンケートをもとに業務改善と質の向上を目指している。                                      | 外部の視点を活かして、質の向上を続けていく。                                       |
|          | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                        | 7  | 0   | オンラインによる研修も増えてきて、受講できる外部研修の機会が増えた。                                    | 研修内容の共有を継続し、資質向上を図る。積極的な研修の機会を推進していく。                        |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                  | 7  | 0   | 支援プログラムのねらいが分かりやすく、職員も意図をしっかりと理解して取り組み、保護者様にも分かりやすい。                  | 公開している支援内容を日々の活動に反映し、専門的療育として実践している。今後も丁寧に取り組んでいく。           |
|          | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。                                                                       | 7  | 0   | お子様の状況や保護者の思いを職員全員で話し合いながら作っているため、分かりやすく支援にも活かしている。                   | 日々の療育を客観的に整理し、強みと課題を明確にした計画づくりを充実させ、丁寧な分析で支援の質を高めていく。        |
|          | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                         | 7  | 0   | 職員が共通理解のもとで話し合うことで、支援計画書の内容も具体的にイメージでき、すぐに実践に活かしている。                  | 話し合いの機会を継続し、連携を深めていく。                                        |
|          | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                      | 7  | 0   | 職員間でしっかり共有され、毎日確認や口頭でのやり取りも行うことで、計画に沿った支援が行われている。                     | 計画に沿った支援を大切にしつつ、日々の気づきを分かち合いながら、よりきめ細やかな関わりを広げていく。           |
|          | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                      | 7  | 0   | 適応行動は日々の観察と改訂を重ねたアセスメント用紙で確認し、5領域の視点で記録。特記事項も職員全員で共有している。             | 数年かけて改訂を重ねたアセスメントシートは、確認すべき内容を網羅しており、今後も継続し、丁寧なアセスメント実施を目指す。 |
|          | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7  | 0   | 個別支援計画は、将来の自立を見据えた視点で内容を整理し、専門職それぞれの立場から意見を出し合いながら検討し、最適な支援内容を設定している。 | ガイドラインに基づいた視点を維持し、具体的な支援が記載されている計画内容の充実を図っていく。               |
|          | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                   | 7  | 0   | 活動の方向性は職員がアイデアを出し合い、子どもの様子に応じて調整しながら、チームで形にしている。                      | チームでの立案を継続していき、質の向上を目指す。                                     |
|          | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                                                                                 | 7  | 0   | 子どもが参加したくなるよう工夫し、療育活動も取り入れたプログラムを職員全員で作成し進めている。                       | 子どもの興味に合わせた最新の情報を取り入れた活動プログラムの工夫を継続する。                       |

|              |    | チェック項目                                                                                                     | はい | いいえ | 工夫している点                                                      | 課題や改善すべき点                                                    |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 適切な支援の提供     | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。                                                      | 7  | 0   | 個別と集団活動を組み合わせ、スモールステップで支援し、専門的支援も実施できている。                    | それぞれの良さを職員間で共有しながら、今後もバランスの取れた支援を大切にしている。                    |
|              | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                                            | 7  | 0   | 打ち合わせで役割や内容を共有し、チームで連携する積み重ねが支援の土台で、安心して療育に取り組める。            | 事前共有を徹底して、連携を強化していく。                                         |
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                                                     | 7  | 0   | 毎日のミーティングで情報を共有し、誰が担当しても一貫した支援につなげている。                       | 振り返りを継続していき、支援改善につなげる。                                       |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                                                     | 7  | 0   | 日々の記録を大切に、担当外のお子様の様子も確認。みんなで話し合いながら支援の改善につなげている。             | 分かりやすい記録を継続し、支援の質を高めるための検証と改善を積み重ねていく。                       |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                                                          | 7  | 0   | お子様の成長に合わせ、会議や面談、日々の観察・モニタリングで保護者の意見も踏まえ支援を見直している。           | 見直しを継続していき、お子様の成長に応じた柔軟で適切な支援につなげていく。                        |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                                   | 7  | 0   | 必要に応じて児童発達支援管理責任者が中心となり関係機関と連携し得られた情報を共有し支援に活かしている。          | 連携を継続し、最新の情報共有で支援の質を高めていく。                                   |
|              | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                                 | 7  | 0   | 電話や訪問を通して連携先を広げ、支援体制づくりに取り組み、その成果も見え始めている。                   | 連携関係を維持して、さらに支援の幅を広げていく。                                     |
|              | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 7  | 0   | 併行利用や移行を見据え、機会があれば各機関へ出向いて支援内容を共有し相互理解を図るようにしている。            | 今後も、園と継続的につながり、日々の様子や困りごとを共有していく。                            |
|              | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                                                     | 6  | 1   | 幼稚園・保育園との連携は年々深まっているが、小学校とは少しずつ協力しながら関係を広げている状況である。          | 今後も、保護者の希望に応じ、資料で説明し、安心して学校生活を始められるようサポートしていく。               |
|              | 28 | (28～30は、センターのみ回答)                                                                                          |    |     |                                                              |                                                              |
|              |    | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。                                                 |    |     |                                                              |                                                              |
|              |    | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。                                                         |    |     |                                                              |                                                              |
|              | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。                                                                  |    |     |                                                              |                                                              |
|              | 31 | (31は、事業所のみ回答)                                                                                              | 7  | 0   | 長年のつながりを生かし、児童発達支援センターと情報共有や連絡会で連携を深め、研修情報のやり取りも行っている。       | 支援計画を持参する際、必要時に相談しているが、セルフプラン化でセンターとの連携はやや減ってきているため今後増やしていく。 |
|              |    | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。                                                       |    |     |                                                              |                                                              |
|              | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。                                                                | 5  | 2   | 園と連携しており、利用児は全員日中は園に在籍しているため、日々地域の子どもたちと自然に交流している。           | 交流の機会を大切に継続する。                                               |
|              | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                                           | 7  | 0   | 保護者送迎を通して毎日対面で話し、子どもの様子や課題を伝え合いながら信頼関係と共通理解を築いている。           | どんな時も、笑顔で丁寧な対話を継続していき、共通理解を深めていく。                            |
|              | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。                               | 7  | 0   | 家族支援プログラムや研修の機会を充実させて実施しており、参加率も高く、保護者様の満足度や学びの深まりにつながっている。  | 研修ごとの保護者アンケートを十分に活かして、内容をさらに充実させて継続していく。                     |
| 保護者への説明等     | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                                                       | 6  | 1   | 常勤職員が丁寧に説明しているが、分からないことは、専門職員に確認して、共有するようにしている。              | 契約時の説明は長く丁寧だが、保護者様が理解するのには難しいので、今後も通信や個別で補足していく。             |
|              | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。                             | 7  | 0   | 作成する際は子ども主体で考えつつ、保護者の意向も大切にしている。面談で丁寧に確認し日々もいつでも話し合える体制を整える。 | 日々の意向確認の機会を維持していく。                                           |
|              | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。                                                         | 7  | 0   | 計画書の同意をいただく際には、成長に応じていつでも相談できることを伝え、安心につなげている。               | あらゆる場面で、丁寧な説明を継続する。質問内容は、職員全員で共有して、事例を活かして対応していく。            |
|              | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                                         | 7  | 0   | いつでも相談できると伝え、小さな相談も共有・連携して支援につなげている。                         | 積極的な相談対応を継続していく。                                             |

|          |    | チェック項目                                                                                     | はい | いいえ | 工夫している点                                                            | 課題や改善すべき点                                                     |
|----------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 保護者への説明等 | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 7  | 0   | 保護者やきょうだい交流の行事は充実してきている。事業所の大切な行事として職員全員で役割を分担し、長年のノウハウを生かし継続していく。 | 事業所の大切な行事として職員全員で役割を分担し、長年のノウハウを生かし継続していく。                    |
|          | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。               | 7  | 0   | 相談には何度でも応じ、希望が重なる曜日は調整。職員で話し合い、迅速に対応する姿勢が安心につながっている。               | 迅速な対応と共有体制を維持していく。                                            |
|          | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 5  | 2   | 通信や冊子で療育内容を丁寧に伝えているので、保護者様とのつながりを深め、安心と理解・協力の向上につなげている。            | 更にHPの更新頻度を高め、事業所外にも広く知っていただけるよう職員で協力して取り組んでいきたい。              |
|          | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | 7  | 0   | 個人情報お持ち出さず、研修で培った意識で安全に管理している。                                     | 保管方法・管理体制を継続していく。                                             |
|          | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                      | 7  | 0   | 絵カードなどを使い子どもの想いや表情に気付き丁寧に意思疎通している。                                 | 職員の細心の配慮を継続し、理解を深めていく。                                        |
|          | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                                      | 6  | 1   | 地域ボランティアから多くを学び、遊びやゲーム、人形劇などを通して触れ合う機会を作っている。                      | 地域ボランティアとの交流はお子様や保護者も楽しみにしており、さらに活動を広げていきたい。                  |
| 非常時等の対応  | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 7  | 0   | 契約時の説明だけではイメージしにくいため、訓練ごとに保護者通信や連絡帳で詳しく説明する機会を設けている。               | 実際の連絡の流れや具体的な動きをより分かりやすく整理できるようにしていく。                         |
|          | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 7  | 0   | BCPを策定し、毎年更新した資料をもとに避難や救出の訓練を定期的に行い、職員の意識向上につなげている。                | 非常災害の発生時に役立つ実践的な訓練を継続していく。                                    |
|          | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                                        | 7  | 0   | お子様の毎日の健康状況は、送迎時に保護者から担当職員に必ず伝え、職員間でも共有している。                       | 迅速に、最新情報共有を徹底していく。                                            |
|          | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                                     | 7  | 0   | 研修で学んだ命を守る情報を共有し常に対応できるよう徹底していく。                                   | 今後も最新の資料で研修を行い、医師指示に基づく対応を徹底していく。                             |
|          | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 7  | 0   | 訓練や研修を計画に沿って実施し、全職員で安全管理を意識しながら支援に活かしている。                          | 今後も訓練や研修を計画に沿って継続し、全職員で安全管理を意識しながら支援に活かしていく。                  |
|          | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 7  | 0   | 通信や連絡帳で写真などを使い、安全計画や訓練内容を見る化し、理解と協力につなげている。                        | 今後も家庭との連携して、安全確保の意識と取り組みの内容を深めていく。                            |
|          | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                                    | 7  | 0   | 子どもの特性を理解し、研修で事例を共有したことで、怪我や事故が無く、安全に療育を行っている。                     | 事例共有を継続していき、環境面・活動の動線等に危険なことがないかを安全視点で、職員全員がヒヤリハット防止に取り組んでいく。 |
|          | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                                       | 7  | 0   | 毎年新しい資料で虐待防止研修を行い、日々の療育でお子様の人権を最優先にしている。                           | 絶え間ない研修を継続して、虐待を防止する意識統一を図っていく。                               |
|          | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。               | 7  | 0   | 研修で確認し、職員は会社方針どおり身体拘束せず、子どもの権利を尊重する取り組みを組織的に行っている。                 | いかなる場合も身体拘束を行わないという事業所方針の確認を研修や日々の療育で継続していく。                  |